

2021 年度事業報告書

【2021 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日まで】



チア!アート
CHEER!ART

トップメッセージ

医療や福祉の現場を人の生きる力を引き出せるような環境にしたい。

そんな思いから、2017年7月にチア・アートは、歩み出しました。

5期目である2021年度は、2020年度に引き続き、筑波大学附属病院や筑波メディカルセンター病院では、新型コロナウイルス感染症の流行によって医療現場における活動や面会が制限されるなかで、アートやデザインに出来ることを検討し、実施していきました。また、筑波メディカルセンター病院緩和ケア病棟の家族控室の改善に向けたクラウドファンディングに挑戦し、多くの皆さんからご支援いただきました。ご支援・応援してくださった皆様、この場をお借りしてお礼申し上げます。そして、今年度は、つくば公園前ファミリークリニックのアートワークやデザイン、オオニシ体育や丸眞の皆さんが療養生活を豊かにするためにと手がける製品のリニューアルや開発にも携わることができました。

これからも医療福祉施設、企業の方々、患者さんや利用者の皆さん、地域の方々と一緒に、医療や福祉におけるより良い環境のあり方について考え、アート・デザインの実践に取り組んで参りますので、継続的なお力添えを心よりお願い申し上げます。

2022年6月

特定非営利活動法人 チア・アート

理事長 岩田祐佳梨

1 事業の成果

2021 年度は、5 期目の活動を 4 月に開始させ、2021 年 6 月 14 日に通常総会を行いました。事業として、(1) 医療施設等における環境改善事業、(2) 療養生活を支援する製品等の開発・研究事業、(3) 医療施設等でのアート活動の啓発・普及事業を行いました。主な取り組みを報告いたします。

2 事業の内容

(1) 医療施設等における環境改善事業

① 筑波大学附属病院 アートコーディネート

筑波大学附属病院と筑波大学芸術分野との協働によるアートプロジェクトのコーディネート業務を行い、アート・デザインによる継続的な環境改善をマネジメントしました。2021 年度は、1) メール審議とオンラインで「病院のアートを育てる会議」を開催し、2) 作品展示（映像、書、洋画、写真、立体造形、ガーデン）の継続・更新、3) 対面でのアートイベントに代わる「アスパラガス通信」や「工作パック」等の発行・制作支援、4) 病院ウェブページ内に掲載する病院アート・デザイン活動関連ページの作成、5) 病院職員を対象とした対話型鑑賞会の実施、6) 小児の療養環境の支援ツール開発、7) 病院部局が主体で行う事業へのアート分野に関する協力・支援を行いました。

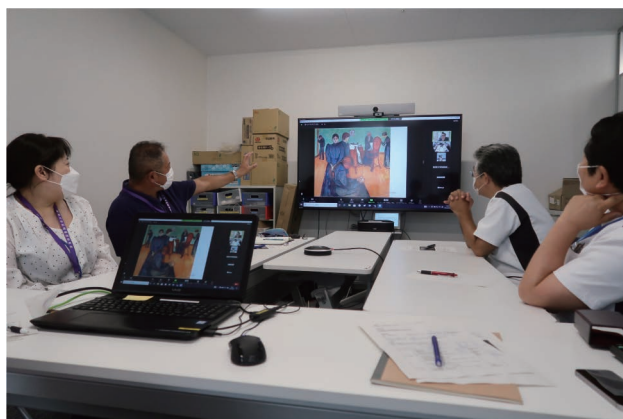
● 実施日時：2021 年 4 月～2022 年 3 月

● 場所：筑波大学附属病院（茨城県つくば市）

● 協働：病院のアートを育てる会議（筑波大学附属病院、筑波大学芸術系教員、筑波大学 adp 学生チーム アスパラガス、アート・コーディネーター 佐藤恵美ほか）



院内展示（風景画実習作品展）／制作・展示：筑波大学芸術専門学群洋画領域、コーディネート：佐藤恵美、松崎仰生（チア・アート）

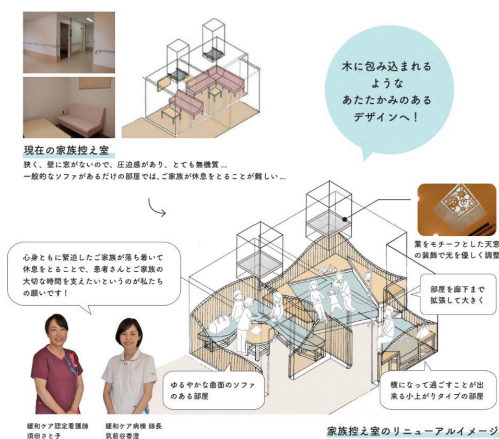


院内展示作品を用いた対話型鑑賞会／ファシリテーター：森永康平（獨協医科大学総合診療科・とちの葉クリニック院長・ミルキク代表）、運営：佐藤恵美、松崎仰生、岩田祐佳梨（チア・アート）

② 筑波メディカルセンター病院 アートコーディネート

病院と筑波大学芸術分野との協働によるアートプロジェクトのコーディネート業務を行い、アート・デザインによる継続的な環境改善をマネジメントしました。2021年度は、1) 大学とのアート活動の協働支援で緩和ケア病棟 家族控え室の改修におけるデザインマネジメントを行いました。家族控室改修にかかる資金調達を目的としたクラウドファンディングの企画運営にも携わり、約400名の方から総額13,084,000円のご支援をいただきました。2) 院内の環境改善支援では、職員を被写体とする写真展「病院のまなざし」の巡回展時の開催、記録冊子の作成を行いました。

- 実施日時：2021年4月～2022年3月
- 場所：筑波メディカルセンター病院（茨城県つくば市）
- 協働：筑波メディカルセンター病院、筑波大学芸術系教員、
筑波大学 adp 学生チーム パブリカ、須藤ゆみ、石附雅代ほか



緩和ケア病棟家族控え室改修プロジェクト／デザイン：
adp 学生チーム パブリカ、監修・マネジメント：貝島桃代、
岩田祐佳梨、水畑日南子（チア・アート）



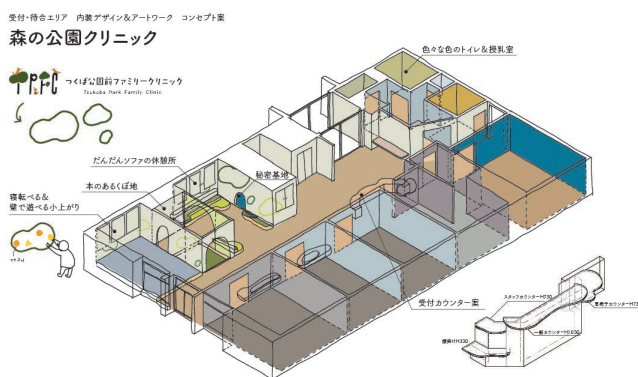
病院職員の写真展「病院のまなざし」巡回展（茨城空港、イーアスつくば、イオンモール土浦）／企画・制作：岩田祐佳梨、水畑日南子（チア・アート）、撮影：石附雅代、須藤ゆみ

③ つくば公園前ファミリークリニック

アートワークディレクション、ソファベンチ設計

整形外科を専門とするクリニックの開設に伴い、内装の基本構想、アートワークのディレクション（壁面アートワーク、サイン）、ソファベンチの設計を行いました。周囲の豊かな自然との連続性を持たせること、子供と家族が居場所を選んで過ごせること、感性を刺激する場をつくることを意図し、木や雲を想起させるモチーフが漂う空間とソファベンチを提案しました。

- 実施日時 2021年7月～2022年3月
- 場所：つくば公園前ファミリークリニック（茨城県つくば市）
- 協働：つくば公園前ファミリークリニック、中村マリ



内装の基本構想案



原寸大模型を用いたソファベンチのデザイン検討



(2) 療養生活を支援する製品等の研究・開発事業

① 巧技台配色デザインリニューアル、ロゴマークデザイン

室内で体を動かすための木製遊具「巧技台」の配色デザインのリニューアルとロゴ制作を行いました。暮らしや遊びの延長として、巧技台を使って主体的に体を動かすことができるように、自然環境をコンセプトとしました。各パーツは、森のなかにある丘や山、川や湖をイメージしています。木製であることを生かすため、木肌を見せつつ、アクセントカラーとして緑や水色などの自然環境を想起させる色を用いています。彩度・明度の高いアクセントカラーを用いることで、医療福祉施設に設置する際も室内を明るく彩り、自然の要素を演出することも意図しています。

- 実施日時：2020 年 10 月～2021 年 5 月
- 場所：東京都豊島区
- 協働：オオニシ体育株式会社、ふるやまなつみ



巧 技 台
KOUGIDAI

技巧台ロゴマーク／ディレクション：チア・アート、
デザイン：ふるやまなつみ



巧技台（50 年以上親しまれている既存色）



配色リニューアルした巧技台（デザイン：チア・アート）

② 医療的ケア児と家族のための繊維製品開発における研究指導助言、 リードユーザーのコーディネート

- 実施日時：2022 年 2 月～3 月
- 従事者：岩田祐佳梨
- 協働：丸眞株式会社、tona 河東梨香
- 協力：オレンジキッズケアラボ

(3) 医療施設等でのアート活動の啓発・普及事業

① 医療とアートを考える勉強会「チア！ゼミ」

チア！ゼミは、医療福祉従事者、クリエイター、地域の人々、患者さんやその家族、学生など様々な背景を持つ人たちが集まり、参加者同士の対話によって、医療や福祉におけるアート・デザインの考えを深める勉強会で、定期的に開催しています。実践者や当事者の方に話題提供していただいた後、参加者同士で対話しながら、異なる視点や考えを共有します。昨年度と引き続き、今年度もオンラインでの開催となりました。

- 実施日時：2021年8月～11月（計4回）
- 場所：オンライン
- 参加者：医療従事者、学生、アート関係者、地域住民など各20～30名



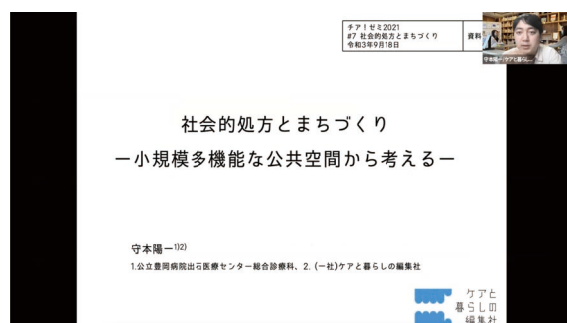
【第6回チア！ゼミ「音楽療法とウェルビーイング」2021年8月28日】

話題提供者：三道ひかり氏（認定音楽療法士・保健学博士）



【第7回チア！ゼミ「社会的処方とまちづくり」2021年9月18日】

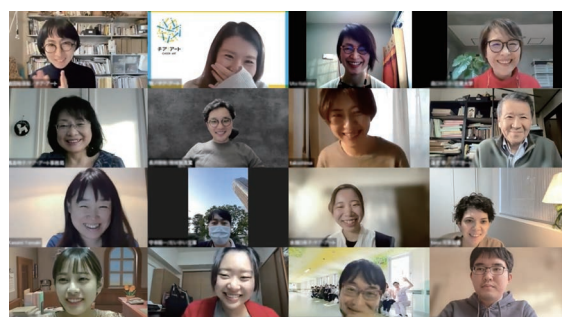
話題提供者：守本陽一氏（公立豊岡病院組合立石医療センター総合診療科医師・一般社団法人ケアと暮らしの編集社代表理事）





【第8回チア！ゼミ「チャイルドライフのデザイン」2021年10月30日】

話題提供者：岡崎章氏（拓殖大学工学部 デザイン学科 教授）



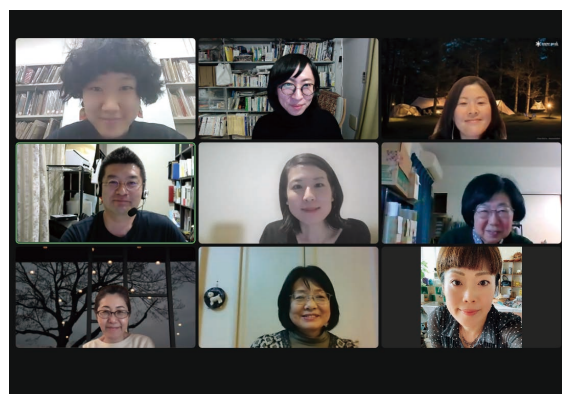
【第9回チア！ゼミ「社会的処方とアート活動～イギリス北東部でのフィールドワークを通して～」2021年11月20日】

話題提供者：中野詩氏（美術待合室主宰・東京都現代美術館学芸員）

② オンライン交流会

チア・アートの会員限定のオンライン企画として「相談やカウンセリングの場づくりを考えよう」をテーマに、会員のみなさんの経験や考えを自由にシェアリングし、意見交換する交流会を実施しました。

- 実施日時：2022年3月28日
- 場所：オンライン
- 参加者：チア・アート、会員のみなさん



オンライン交流会「相談やカウンセリングの場づくりを考えよう」

③ その他、講演など

筑波大学ヘルスサービスリサーチ研究会、日本医療デザインサミット、ほっちのロッヂでのトークイベント、病院マーケティングサミットにて、講演を行いました。また、以下のメディアに活動内容が掲載されました。

講演

- 1) 岩田祐佳梨：医療分野におけるアート&デザインの実践と可能性，筑波大学ヘルスサービスリサーチ研究会，2022.2.25
(<https://hsr.md.tsukuba.ac.jp/content/uploads/sites/19/2022/01/44thposter.pdf>)
- 2) 岩田祐佳梨：#1「ケアの現場で撮る」を考える，ほっちのロッヂ，2021.12.18 (<https://hotch-art1.peatix.com/view>)
- 3) 岩田祐佳梨：第1回 医療デザインサミット，一般社団法人 日本医療デザインセンター，2021.11.21
(<https://mdc-japan.org/design-summit2021/>)
- 4) 岩田祐佳梨：医療 × クラウドファンディング 誰か1人の小さな支援は、医療の将来を切り拓く力となりうるのか？，病院マーケティングサミット JAPAN (<https://hospital-marketing.jp/summit2021/>)

書籍

- 1) 岩田祐佳梨：アートが修復する人と人の関係 医療現場の写真展，コロナ禍を契機とした障害のある人との新しい仕事づくり，一般社団法人たんぽぽの家 Good Job! Project, 2021.9.30 (<https://tanpoponoye.org/library/books/2022/04/000013184/>)
※2020 年度に発表したトークイベントの内容が掲載されました

メディア

- 1) コロナ禍、働くスタッフの励みに 筑波メディカルで写真展「病院のまなざし」，NEWS つくば，2021/3/26
- 2) つくば You've got 84.2, ラヂオつくば，2021.3.30
- 3) つくば You've got 84.2, ラヂオつくば，2021.4.5
- 4) つくばの病院で写真展，東京新聞，2021.4.8
- 5) 職員の働く姿撮影 写真展 コロナ医療に感謝，茨城新聞，2021.4.12
- 6) 緊迫の中の笑顔，東京新聞，2021.4.16
- 7) マスク越しの笑顔を，毎日新聞，2021.5.10
- 8) 医療者の姿写す，読売新聞，2021.5.15
- 9) アートで患者に安心感，毎日新聞，2021.6.1
- 10) 7/14-29 写真展「病院のまなざし」コロナと向き合う医療現場の表情を届ける，NEWS つくば，2021.7.11
- 11) いば6, NHK 水戸放送局，2021.9.15

受賞

- 1) 緩和ケア病棟家族控室デザインプロジェクト：第7回 医美同源デザインアワード「入院生活を豊かにするデザイン」空間部門
優秀作品

チア・アートへのご支援 ありがとうございました

(2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日決算)

収益	(単位千円)
会費	416
寄付	601
補助金	305
事業収益	5,468
合計	6,790

支出	(単位千円)
事業費	2,334
管理費	3,258
合計	5,593

2021 年度 特定非営利活動法人チア・アート 役員

理事長 岩田 祐佳梨 / 筑波大学芸術系 非常勤研究員、日本工業大学生活環境デザイン学科 非常勤講師

副理事長 貝島 桃代 / 筑波大学芸術系 准教授、スイス連邦工科大学チューリッヒ校 教授

理事 原 晃 / 筑波大学附属病院 病院長

軸屋 智昭 / 筑波メディカルセンター病院 病院長

蓮見 孝 / 筑波大学名誉教授

野中 勝利 / 筑波大学芸術系長 教授

白川 洋子 / 茨城県看護協会 会長

監事 山中 敏正 / 筑波大学芸術系 教授